

# 次世代小型航空機の活用を想定した混雑空域の運用共存性の研究

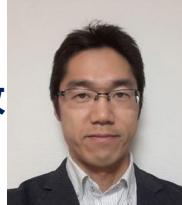
発表者 平田 輝満 客員研究員 茨城大学工学部教授

菅生 康史 研究員

コメンテーター 又吉 直樹 宇宙航空研究開発機構航空技術部門航空利用拡大  
イノベーションハブ長

平田 輝満 客員研究員

2005年東京工業大学大学院土木工学専攻博士後期課程修了後、日本学術振興会特別研究員、運輸政策研究機構（現：運輸総合研究所）研究員を経て、2013年より茨城大学工学部准教授、現在教授。2024年より運輸総合研究所客員研究員。この間、非常勤にて航空保安大学校専修科聴講生やJAXA客員研究員などにも従事。専門は土木計画学・交通工学で、特に空港計画や航空交通システム、道路物流、地域公共交通などの研究に取り組む。



菅生 康史 研究員

1999年武蔵工業大学工学部土木工学科卒業。同年（財）運輸政策研究機構（現：運輸総合研究所）入所。主に都市内（鉄道、バス）、幹線（航空、新幹線）の旅客流動の現状把握、課題抽出、対応策の検討、需要予測、評価等に関する業務に従事。また、当研究所が2007年に実施した首都圏空港将来像調査では、国内LCCの参入時における国内航空運賃の将来想定を担当。



又吉 直樹 宇宙航空研究開発機構航空技術部門 航空利用拡大イノベーションハブ長

1995年東京大学工学部航空宇宙学科修了。1997年東京大学大学院工学系研究科航空学専攻修士課程修了。同年、科学技術庁航空宇宙技術研究所入所。2008年英国リバプール大学リサーチフェロー。現在、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構航空利用拡大イノベーションハブ長として、次世代エアモビリティに係る研究全般を所掌。文部科学大臣表彰 科学技術賞開発部門（2016年）、日本航空宇宙学会技術賞（2016年）、日本航空宇宙学会論文賞（2007年）。日本航空宇宙学会、AIAA、日本風工学会会員。

